

Challenge your future

長野県立大学が進める 人材育成と地域連携

大室悦賀

長野県立大学グローバルマネジメント学部

企(起)業家コース

コース長予定者

ソーシャルイノベーション創出センター

センター長（予定者）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



今世界が考えていること
そして、今我々が考えなければならないこと

長野、そして日本を持続可能な社会にしたい!!

変化は感情的なもの、論

理的なものではない。

変化を起こすためには、

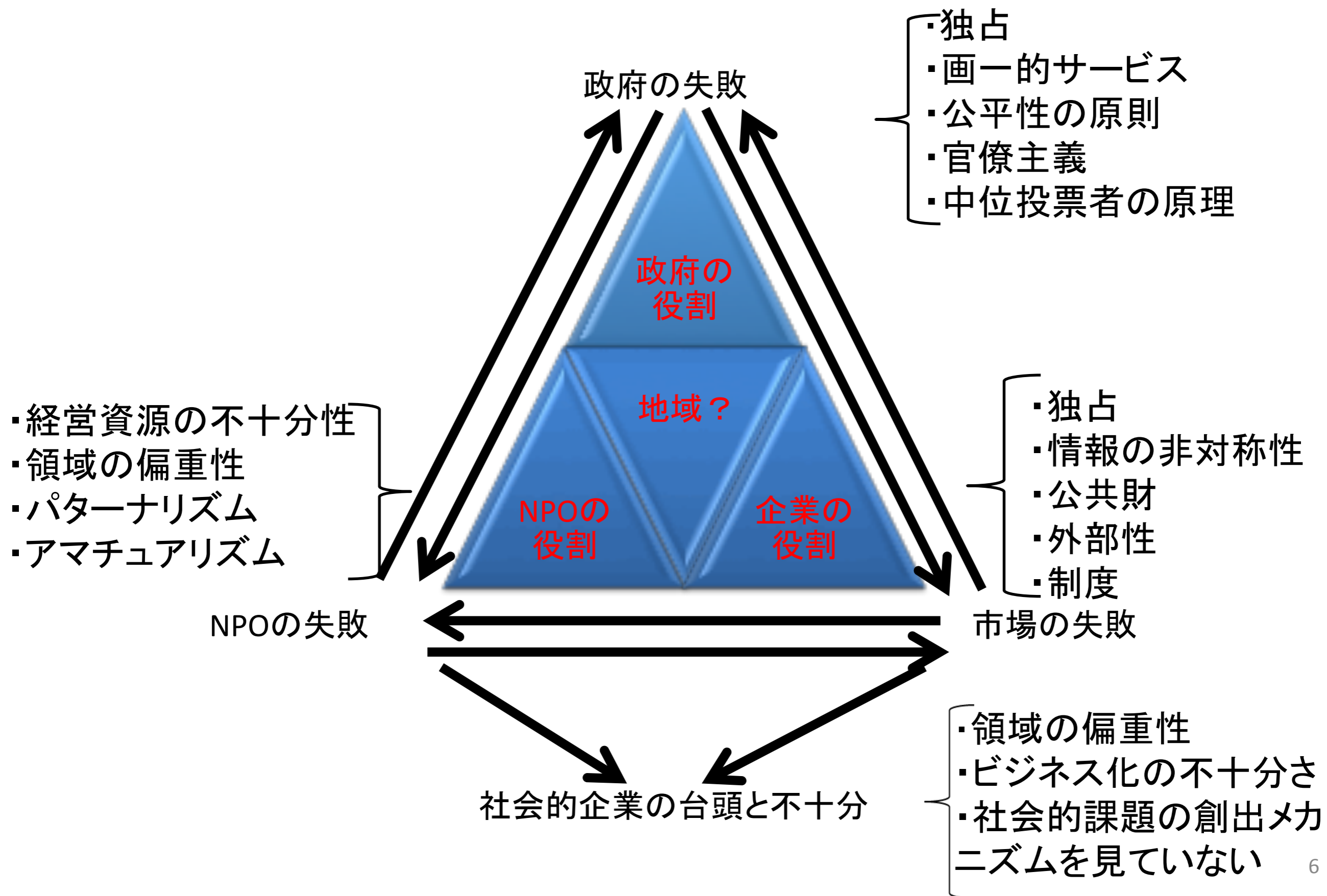
感情をマネジメントする

ことが重要である。

社会的背景

社会や企業が様々な課題に直面する!!
しかし、問題だけを見ないでください。

社会の閉塞感: 4つのセクターの限界



都道府県開業率(2015年)

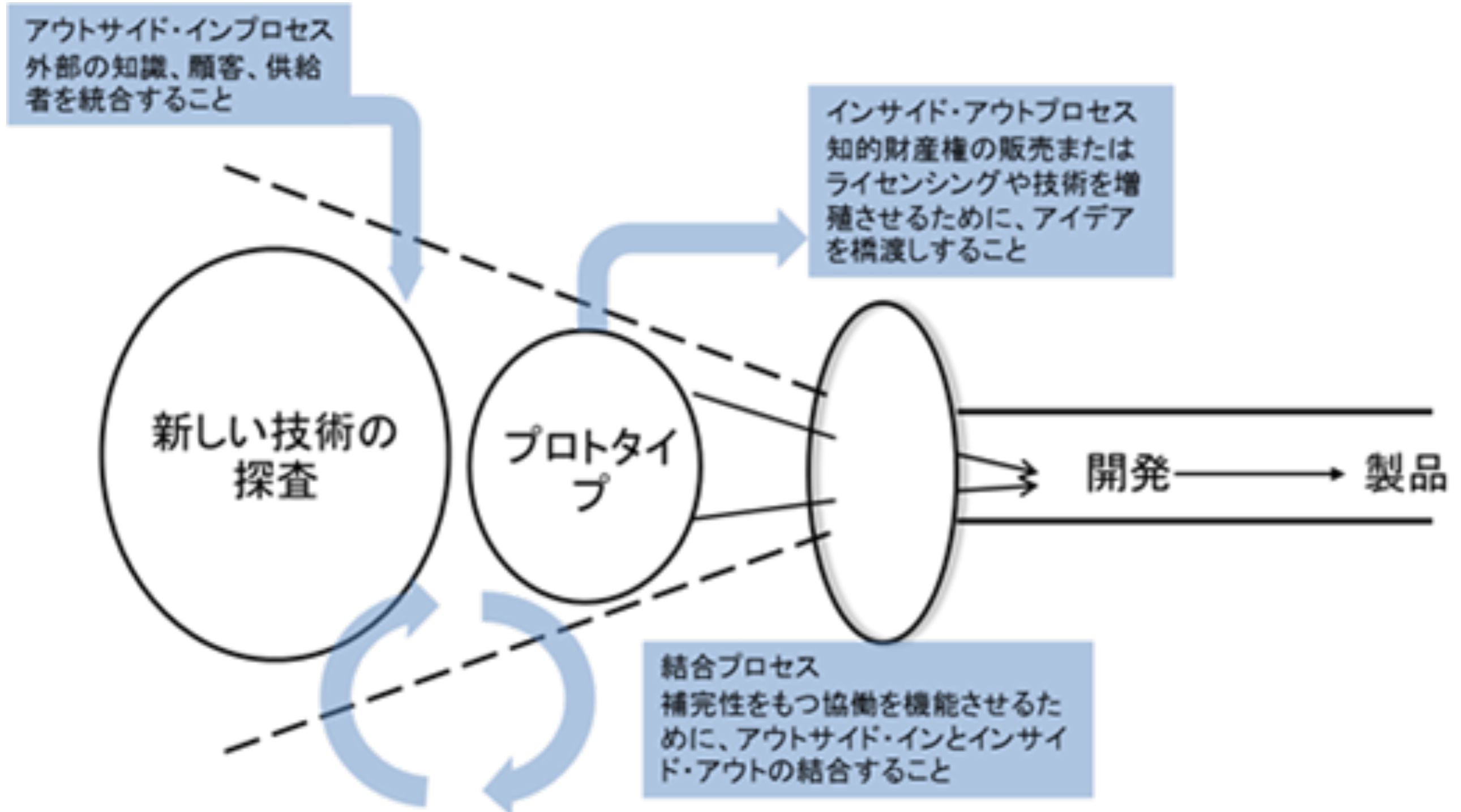
	都道府県	開業率	廃業率
1	沖縄	7.0%	3.7%
2	埼玉	6.8%	3.5%
3	千葉	6.5%	4.3%
4	神奈川県	6.3%	4.1%
5	福岡	6.1%	4.4%
6	愛知県	6.1%	4.0%
7	大阪	5.9%	3.6%
8	東京都	5.6%	3.7%
9	三重	5.3%	3.6%
10	福島	5.3%	3.1%
11	宮城	5.3%	3.3%
12	茨城	5.3%	3.3%
13	熊本	5.3%	3.2%
14	兵庫県	5.2%	4.2%
15	群馬	5.1%	3.8%
16	宮崎	4.8%	4.1%
17	岡山	4.8%	3.7%
18	奈良	4.7%	4.3%
19	京都	4.7%	4.6%
20	山梨	4.7%	3.5%
21	佐賀	4.7%	3.6%
22	岐阜	4.6%	3.7%
23	大分	4.6%	4.0%
24	静岡	4.6%	3.9%

25	和歌山	4.5%	3.1%
26	愛媛	4.5%	3.8%
27	栃木	4.4%	3.3%
28	広島	4.4%	3.6%
29	滋賀	4.3%	4.9%
30	鹿児島	4.3%	3.5%
31	石川	4.3%	3.5%
32	香川	4.3%	3.2%
33	北海道	4.2%	4.3%
34	鳥取	4.2%	3.5%
35	徳島	4.2%	2.9%
36	長崎	4.1%	3.6%
37	高知	4.1%	3.6%
38	山口	4.1%	3.6%
39	長野	4.0%	4.0%
40	福井	3.7%	3.3%
41	富山	3.7%	3.5%
42	青森	3.6%	3.7%
43	山形	3.4%	3.2%
44	岩手	3.4%	3.4%
45	島根	3.3%	4.2%
46	新潟	3.1%	3.4%
47	秋田	2.8%	3.5%
	全国計	5.2%	3.8%

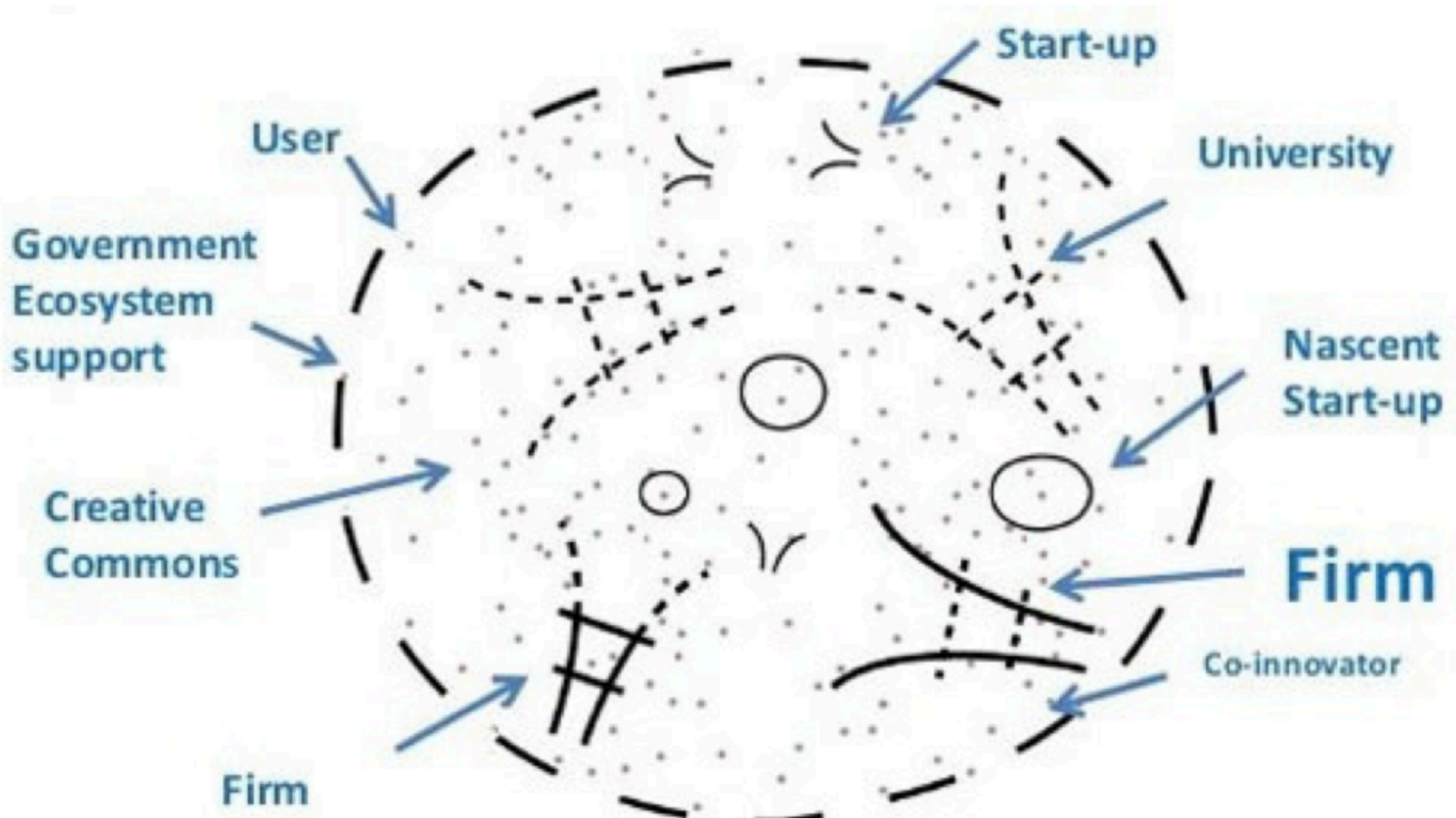
シリコンバレーは開業率15%

前提条件

オープンイノベーション 1.0 (2003)



Open Innovation 2.0 (2010年代)

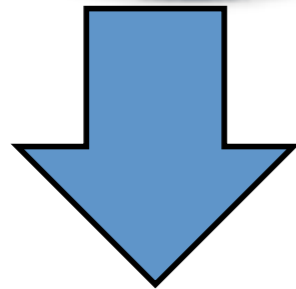


要因	OI1.0	OI2.0
目的	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発効率の向上 新規事業の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な共通課題の解決
連携	<ul style="list-style-type: none"> 1対1の関係性 	<ul style="list-style-type: none"> エコシステム 企業、大学・研究機関、政府・自治体、市民・ユーザなど多様な関係者が多層的に連携・共創し合う循環体制
主導	<ul style="list-style-type: none"> 企業 	<ul style="list-style-type: none"> 市民・ユーザ
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 市民・ユーザはOIプロセスには参加しない Win-Win関係の構築 民間企業主導であるため、互いに利害関係を満たすWin-Winとなる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画型、共創性 市民・ユーザもプロセスの中に巻き込み、ともにイノベーションを創り出す オーケストレーション 共通の課題認識を持つ利害関係の異なる複数のプレイヤーを同じ目標・方向に向かって協奏する

2つのイノベーション(革新)

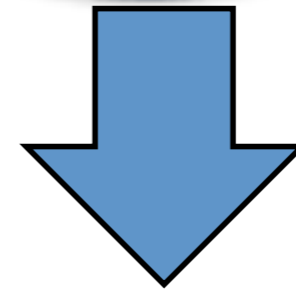
片方だけでは持続的なビジネスや社会は構築できない
常に2つの側面を統合することが大切

ソーシャル・
イノベーション
(社会的価値をもたらす
革新)



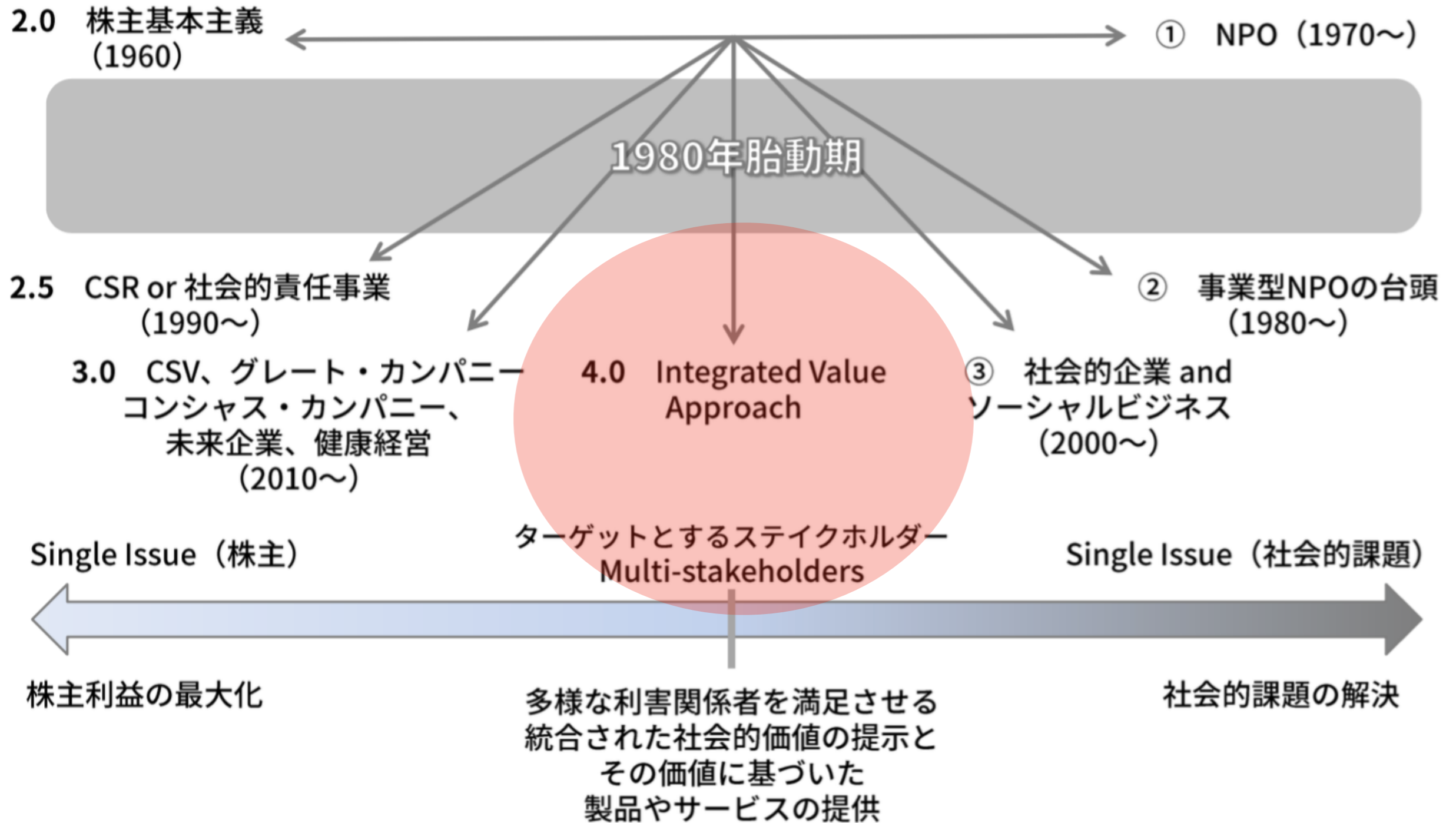
社会的課題の解決

ビジネス・イ
ノベーション
(経済的価値をもたらす
革新)



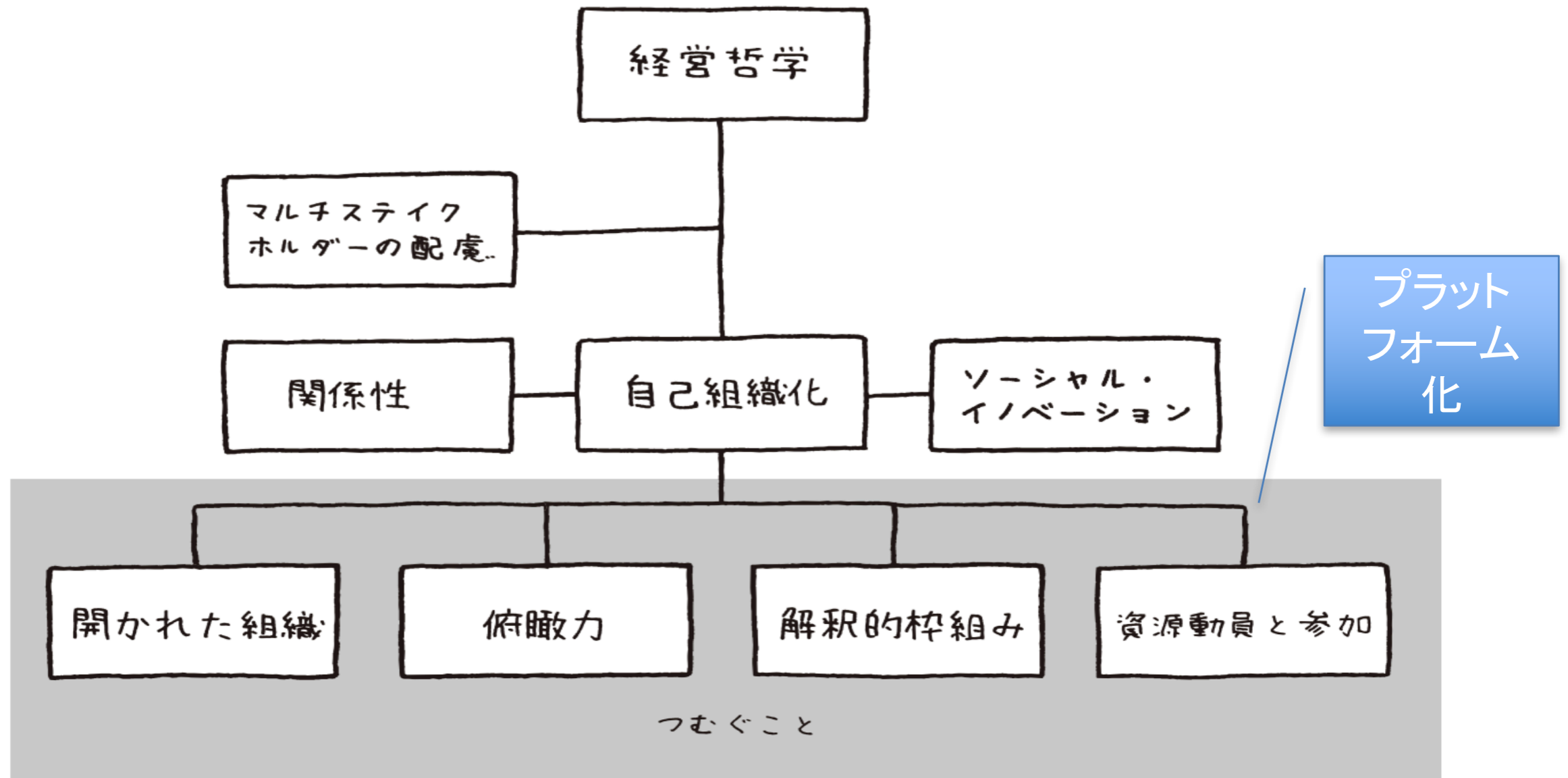
企業の成長

社会にとって必要な企業モデル



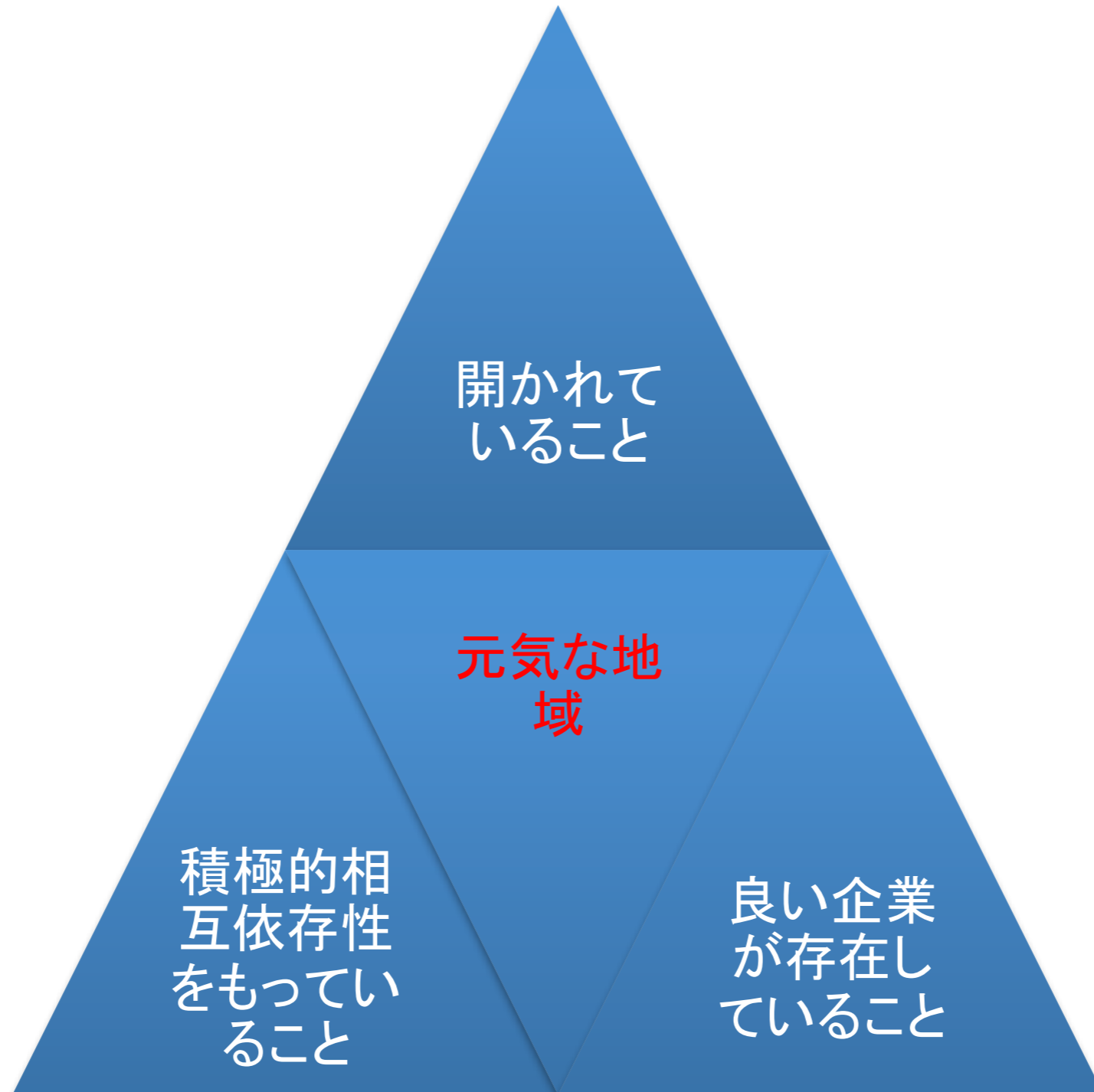
スタイル項目	株主基本主義	CSV (Creating Shared Value)	理念指向マルチステイクホルダー型 (サステイナブル・カンパニー)	ソーシャル・ビジネス型	慈善型NPO型
ステイクホルダーの範囲	株主	バリューチェーン	マルチ	マルチ	社会的課題に関係する人orもの
ステイクホルダーの取り扱い	最小限の管理	管理と利用	マルチステイクホルダーのコンフリクトの最小化	特定のステイクホルダー間のコンフリクトの最小化と活用	特定の社会的課題
経済/社会の優先	経済的パフォーマンス	経済的パフォーマンス	経営哲学に沿ったパフォーマンス	社会的パフォーマンス	社会的パフォーマンス
ビジネスと社会との関係	利益を最大化することが、唯一の社会貢献	社会的価値を創造することで社会的課題を解決し、バリューチェーンの価値の向上	社会との関係に配慮した自社の価値に基づいたビジネスをしながらも、同時に社会的課題を解決する	社会的課題の解決を優先しながらも、ビジネスとしてのパフォーマンスを維持する	市場の外側で活動すること。支援やコラボレーション関係
競争戦略	希少性/差別化	希少性/差別化	意識しない	意識しない	啓発
模倣	厳しく制御	厳しく制御	意識しない	奨励	奨励
イノベーションのタイプ	ビジネス・イノベーション	ビジネス・イノベーション	ビジネス・イノベーション/ソーシャル・イノベーションの両方	ソーシャル・イノベーション	ソーシャル・イノベーション
意思決定	効率性	効率性	経営哲学	社会性	社会性

サステイナブル・カンパニー（理念指向プラットフォーム型企業モデル）



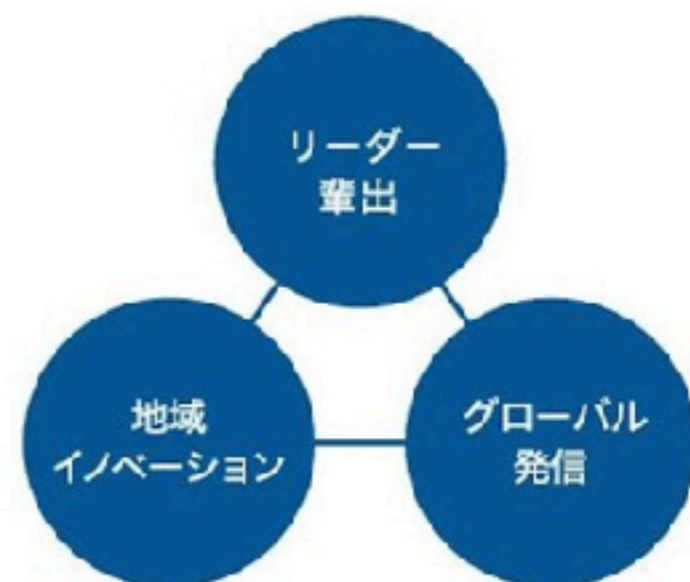
地域社会を活性化する“良い”企業の育成

- 社会的課題の解決のみならず、社会的課題を生まない企業を育成する。



長野県立大学の理念

長野県立大学は、長野県の知の礎となり、未来を切り拓くリーダーを輩出し、世界の持続的発展を可能にする研究成果を発信し、もって人類のより良い未来を創造し、発展させる大学をめざします。本学の基本理念を3つの使命によって表します。



1 リーダー輩出

本学は、幅広い豊かな教養教育、実践重視の高度な専門教育、寮生活や海外研修などによる全人教育によって、新たな時代を担う様々な資質や能力を備えたリーダーを輩出します。

2 地域イノベーション

本学は、長野県の豊かな自然や長い歴史・伝統を理解し、大切にすることを通して、県の産業・文化・生活を活性化する「知の拠点」となり、地域に開かれた大学、地域とともに歩む大学をめざします。

3 グローバル発信

本学は、健全な批判精神をもち、先進的な研究はもとより、長野県の産業や文化を基盤とした学際的な研究を推進し、新たな知を創出し、その成果を地域に還元するとともに、長野から世界に向けて発信します。

海外プログラム

2年次の全学生が、海外において語学に加えて、専門分野の学びを効率よく体験できる短期研修プログラムです。



グローバルな視野やたくましさの獲得

異文化体験や英語によるプレゼンテーション、現地の学生との交流を通じて、異文化を理解する力や、英語による発信力、自ら課題に立ち向かうたくましさの獲得を目指します。

全員参加とすることにより、寮生活と海外プログラムを通じて同じ体験をした学生たちが刺激と経験を共有し、その相乗効果により、自立し、協働できる若者に育っていくこともねらいとしています。

専門分野の学びへとつながる体験

1年次に培った力を基礎として、単なる語学研修ではなく、2年次以降本格化する専門分野の学びの動機付け、視野の広がりを獲得できるような体験を目指します。

【現地での体験例】

- ・大学等におけるビジネスの基礎に関するレクチャー
- ・企業視察や職場体験、健康観や食文化に関するレクチャー
- ・管理栄養士との交流
- ・保育所視察や自然保育の実習体験 など



後町キャンパス 象山寮

本学では、**1年次全寮制**によって、学生同士の学び合い、助け合い、切磋琢磨を通じて主体性・社会性・対人関係形成能力を養います。



留学生との異文化交流や語学力養成の実践の場として、教育的機能を備えた学生寮を実現します。1年次に全学生が入寮することで、自立性や社会性の高い人材の育成を促します。

社会性の獲得

学部学科も出身地も様々な仲間、先輩、地域の人々と知り合い、世界が広がります。地域のお祭りなどにも参加することも検討しています。将来的には、留学生との交流も予定しています。

象山未来塾の設置

江戸時代に当地活躍されたイノベーター佐久間象山にあやかり、正式カリキュラム以外に寮での学修プログラムとして後町キャンパスで開催。毎月優れた人生を営む外部講師を招聘し、「生きる」という事を学ぶ講座を設置。

全学生が学ぶ事を想定した特徴ある科目 (関連のあるものを抜粋)

- ソーシャルビジネス論

社会的課題の解決を目的としたビジネスの概要と創出について講義する。

- アントレプレナーシップ論

起業家精神について、あらゆる場面で必要とされる能力として講義する。

- デザイン思考

思考・実践・修正といったデザイン思考の重要性について講義する。

- 象山学

全国のイノベーターをオムニバス形式でお話しいただく講義。

企（起）業家コース

Challenge your future



長野県立大学
THE UNIVERSITY OF NAGANO

起業、事業承継、第二創業などに関する知識を修得し、広い視野と柔軟な発想により、社会や地域の課題を解決するための新たな事業を立ち上げる構想力や実践力を養成します。



特徴ある設置科目

- ・ 企業家論(トップ・マネジメント論)
- ・ コミュニティデザイン論
- ・ イノベーションキュレーター論
- ・ ビジネスプランニングⅠ-Ⅳ
- ・ セルフマネジメント論
- ・ ソーシャル・イノベーション論
- ・ コミュニティ・デザイン論

	1年次	2年次	3年次	4年次
英語 発信力ゼミ 情報リテラシー 象山学 など 経営学入門 マーケティング 入門 など		英語 など		
		アントレプレナーシップ論 ソーシャル・ビジネス論 管理会計Ⅰ セルフ・マネジメントと社会イノベーションゼ	ソーシャル・イノベーション論 など	
			ソーシャル・ビジネスプランニングⅠ～Ⅳ インターンシッ	消費者行動論 ゼミナールⅢ 卒業研究 など

学生の将来に望むこと

- 自分らしい働き方/生き方をしてほしい
- それぞれの立場から世界の変革を担う人になってほしい
- その変革を長野という地を活用してほしい
- その結果、長野県に貢献してほしい

長野県立大学

ソーシャル・イノベーション創出センター

CSI: Center for Social Innovation Initiative

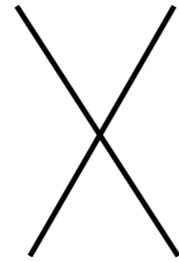
ソーシャル・イノベーションとそのベースとなる要素

「ビジネスを活用し社会的課題の解決をはかるための新しいサービスや製品、あるいはその提供の仕組みのこと」

- 社会的課題の根本的な解決は、社会的課題を創出しないビジネスのこと、である。
- 世界に存在するあらゆるシステムを見直し、社会的課題を生んでいるポイントを変化させることである
- つまり、思考習慣を含めたシステムチェンジのことをソーシャル・イノベーションという。

ソーシャルイノベーションの事業領域

市場の失敗を回避する
領域



政府の失敗を回避する
領域



オープンイノベーション
を促進する領域

第1 3つのミッション

(1) 働きがいのある雇用を創出

地域の課題: 人口減少

→「自分らしい働き方」「ここで働きたい」と思わせる仕事、
企業を増やす

(2) 社会的課題の解決を支援

地域・世界に共通の課題(SDGs)に挑戦

→ 公的機関だけでなく、民間ビジネスによる取組みを促進

(3) 地域に支持され続ける県立大学

学生だけでなく、県下各地・各層に存在感がある大学

→ 地域の人材・企業を巻き込む＋支援する

第2 事業の3本柱

(1) 社会的課題に取り組む創業・事業者支援

- 事業活動を通じた課題解決と雇用創出

(2) 大学教育との連携

- 創業・事業の実際をロールモデルとして学生に
 - 挑戦する志(企業家精神)の養成

(3) 地域・企業との連携

- 学外の人的資源・素材を活用、県下全体をキャンパスに

持続可能な社会に貢献する企業は、単独では生存できない。 エコシステム（生態系）が必要である。

そのためには
多様な利害関係者
（ステイクホルダー）の
参加と、
そのための配慮が必要不可欠



つまり、ステイクホルダー間のコンフリクト（摩擦）を
最小化することが必要である。天秤のように誰かが利益を上
げ、誰かが損をするのではなく、すべての利害関係者にとって
利益のあるマネジメントが求められている。

コミュニティ・デザインの必要性

- 良質な人々のつながりをデザインすること。

中心市街地も、中山間離島地域の集落も、いずれもが良質な人のつながりを失いつつある。

これは、都市計画だけで解決するものではない。

CSIの役割

- 世界とのネットワークを長野のために使うこと。多種多様な専門家を長野の皆様がやりたい事を応援するために活用すること。
- センターは主役にはならない。地域と学生のために黒子に徹する。
- 皆様がやりたいという意思表示をいただき、効果的、効率的に、そして社会にインパクトを残すようなお手伝いをするところです。
- 将来的には全県に非常勤（常勤ではないことが重要）のコーディネータを配置する予定です。

地域の皆様をお願いしたいこと

- 地域や組織のそれぞれの未来と哲学を明示いただくこと
(どんな未来を作りたいのか, どんなまちや組織にしたいか)
- 皆様それぞれが、生き生きとチャレンジしている姿をお見せいただくこと
- 学生が就職したいと思える企業や組織をたくさん作ってほしいこと

ご清聴ありがとうございました。

長野県立大学ならびに学生をよろしく
お願いいたします。